

3月定例会補正予算審査

問 高齢者住宅バリアフリー改修補助金はコロナの関係で補助が増額されたことにより改修申請が増えたのか。

答 令和2年8月まではコロナの影響で前年度比90件の減であったが、9月から補助額を嵩上げしたことから件数がかかなり増えた。主な改修は、手摺設置、段差解消、二重窓などである。



問 県の休業要請による協力金負担金の件数は。

答 市内で食品営業許可を受けている店舗すべてに協力要請をした。協力金負担金の件数は、要件に合致し時短された店舗数となる。実際の件数は県からの報告となる。

問 時短要請の協力金に該当しない店舗に対する配慮はあったか。

答 時短要請の協力金の対象とならない業種への対応については、どの業種まで広げるのか、どの程度コロナによる影響があるのか、金額をどうするのかなど、市単独で基準を決めることは大変難しい。いろいろ検討はしたが、現段階で新たな市の制度を創設することは見送った。

2月臨時会補正予算審査(令和3年2月5日)

新型コロナウイルス感染症対策関連及び補正予算の専決処分など3件を審査

一般会計補正予算(専決処分)

◆令和2年度高山市一般会計補正予算(第15号)
3億円

- 大雪に伴う除雪委託料の増額

◆令和2年度高山市一般会計補正予算(第16号)
1億2千5百万円

- ふるさと納税の寄附額の増加に伴う関連経費の増額

新型コロナウイルス感染症対策関係

◆令和2年度高山市一般会計補正予算(第17号)
7億円

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業
- 新型コロナウイルス対策産業団体等消費活性化策支援事業補助金



■主な質疑

問 ワクチン接種の優先順位と市内での対象者数の内訳は。

答 優先順の概算では、医療従事者約2,600人、65歳以上約3万人、基礎疾患がある方約5,500人、高齢者施設等の従業員約1,300人、その他約4万7,000人として予算を組み立てた。

問 接種後の経過観察も含めたスペースや動線の確保など、様々な模擬訓練を重ねる中で1日に何人の接種を想定しているか。

答 待機場所の確保にかなりのスペースを取ると考えている。集団接種をビッグアリーナで行った場合は最大1,400人に接種いただける体制を想定している。

問 産業団体等消費活性化策支援制度は、苦しい状況にある業種をいかに救うかである。新しく団体や協会を立ち上げ申請しても補助対象となるか。対象となる団体の構成人数は。

答 新しい団体等を設立する場合は、構成人数10人以上で事業を実施されれば補助対象となる。